

調査報告書

- 1 とき：2012年10月31日
- 2 行先：名古屋市立南養護学校
- 3 参加者：わしの恵子、山口清明、岡田ゆき子、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容
 - ・ 南養護学校は、平成18年度に南区七条町から熱田区三本松町へ新築移転をし、小学部65人、中学部50人、高等部184人と市立養護学校の中で最も生徒数の多い学校になりました。
 - ・ 訪問教育学級は南と西にしかありません。小学部は「ひまわり」組として現在男子生徒が1人ですが、学校での学習も体験できるよう教室も用意され、重複障害の生徒の学ぶ権利も保障されています。
 - ・ 玄関も広々として、帰りのスクールバスを待つための長椅子なども整備されていました。また、多目的に使えるようなおどり場(空間)なども広々としていて、楽しそうに三輪車を漕ぐ子どもや、トランポリンで遊ぶ児童もいました。プレイルームは特殊な養護学校において非常に大切なものだと吉田校長より伺いました。各実習室も広々として、陶芸用の釜など設備も整っています。
 - ・ 先日守山養護学校を視察しましたが、改めて、守山養護学校の狭さの問題点を改善すべきだと考えさせられました。